

年 報

こころの樹

－ 事業報告 2006 年度（平成 18 年度）－



Basketball



Rafting



The Brass



Christmas

社会福祉法人 テレビ朝日 福祉文化事業団

テレビ朝日福祉文化事業団の歩み

株式会社テレビ朝日は、1968年（昭和43年、当時はNET＝日本教育テレビ）から毎年秋に交通事故防止・社会福祉キャンペーン「慈善大相撲」（1993年「社会福祉大相撲」に改称）を開催し、その収益金を全日本交通安全協会、黄色い帽子の会、日本赤十字社、こどもの国協会など関係諸団体に寄付してきました。

1977年（昭和52年）8月、社名をテレビ朝日（全国朝日放送）と変更したのを機会に、より幅広い社会福祉活動を行うことをめざして、社会福祉法人テレビ朝日福祉文化事業団を設立しました。

当事業団の設立は、1951年（昭和26年）6月に施行された社会福祉事業法に基づく第2種社会福祉法人として申請・認可されたものです。第1種社会福祉法人が児童養護施設や老人ホームなど福祉施設の設営を目的としているのに対し、第2種は事業活動を通じて社会福祉全般の増進にあたることを目的としています。

2007年度、30周年を迎える事業団は設立以来多くの方々のご理解とご協力を得て、高齢者、心身障害者、児童に対する福祉事業のほかにも、社会に貢献する他の福祉団体を後援、助成しています。

これからも放送事業と密接な連携を持ちながら広く福祉活動を展開し、心のかよった“ともに生きる社会”を作っていくことを念願しています。今後とも、皆様方の一層のご支援ご協力をお願い申し上げます。

目 次

高齢者福祉

通算100回を迎えた高齢者施設訪問	3
第8回クプナ・フラ・フェスティバル	4
高齢者のはつらつカラオケコンクール	5
リハビリ舞蹈	5
けやき坂カルチャー教室	6
ねんりんピック2006静岡大会	7
認知症と明るく生きる	8
その他の高齢者福祉事業・団体への支援	9

心身障害者福祉

車椅子バスケットボール大会	13
ハンディスキー大会	14
全日本視覚障害者柔道大会	15
電動車椅子サッカー関東大会	15
ウィルチェアーラグビー日本選手権大会	16
ろう野球	17
自閉症カンファレンスNIPPON	18
リハビリ音楽療育	18
障害者わくわくカラオケコンクール	19
設備助成	19
その他の心身障害者福祉事業・団体への支援	20

児童福祉

海外生活体験の旅	25
江戸っ子杯野球大会	26
わいわい面白ハイク	27
夏の大学たんけん隊	28
社会を明るくする運動	29
第1回フィランソロピーLPGAプレイヤーズチャンピオンシップ	30
児童虐待防止シンポジウム	32
その他の児童福祉事業・団体への支援	33

第16回ミュージックウェーブ

福祉広報活動

加入する福祉諸団体

社会福祉大相撲

字幕/手話/解説放送推進事業

国内・海外災害被災者支援義援金

平成18年度収支報告

高 齢 者 福 祉

祝！通算100回を迎えた高齢者施設訪問

主催



待ってました！浅香！！

事業団が平成元年から行ってきたベテラン歌手による高齢者福祉施設等への訪問が平成18年度に記念すべき100回を迎えました。

100回目の記念公演は芸能界の大御所、女剣劇の第一人者浅香光代さんの華やかなショーと芸能リポーター梨元勝さんのトークショーを開催、拍手喝采の大成功を収めることができました。

その他にもこの1年間に田代美代子さん、浜より子さん、常連の恵り香さんにご協力をいただき、それぞれ個性あふれるショーを展開しました。

施設のお年寄りたちは手作りのお花など舞台



梨元さんと㊟トーク！

を彩る小道具を自ら公演前に用意して、歌手たちの訪問を心待ちにしてくださっています。

公演後の握手など暖かい交流も行われて大変喜ばれており、今後も200回、300回とこの訪問事業を続けていきたいと思ひます。



会場のお年寄りと握手！

平成18年 4月16日 恵り香

龍岡介護老人保健施設（文京区）

9月6日 田代美代子・梨元勝

特別養護老人ホーム 春陽苑（さいたま市）

9月17日 浜より子

特別養護老人ホーム 暖心苑（江戸川区）

9月18日 恵り香

養護老人ホーム 東村山老人ホーム（東村山市）

12月19日 恵り香

ケアハウス志村ハイライフ（板橋区）

平成19年1月5日 恵り香

デイサービス／ショートステイ あずみ苑（埼玉県羽生市）

2月9日 浅香光代・梨元勝

特別養護老人ホーム 足立新生苑（足立区）



恵り香さん



田代美代子さん＆梨元勝さん
デュエット！



浜より子さん

第8回クプナ・フラ・フェスティバル

共催



鮮やかな衣装で晴れ舞台

“クプナ”とは、ハワイの言葉で“高齢者”の意味があります。

今やフラダンスは若い女性からお年寄りまで大ブームとなっていますが、8回目を迎えた本大会もシニアのフラダンス・チーム19組が思い思いの鮮やかな衣装で着飾り、晴れの舞台で日頃の練習の成果を披露しました。最高齢の方はなんと94歳です！また、ハワイから迎えたゲストの本格ダンスを楽しむなど、午後8時すぎの終演まで皆さんたっぷり感動の1日を過ごしました。



ワイキキの夕暮れ？



ポーズも決まっています

期 日：平成18年7月9日

場 所：東京厚生年金会館大ホール

共 催：（財）日本チャリティ協会

クプナ・フラ・フェスティバル運営委員会

高齡者のはつらつカラオケコンクール

共催



気持ちをこめて

東京都内の各地域で、老人クラブ会員を集めたカラオケコンクールを開催しています。誰にでも気軽に楽しむことができるカラオケのレッスンをしているお年寄りはとても多く、大変しっかりした歌声を聞かせてくれます。満員の大きな会場で歌う貴重なチャンスに、思い思いの衣装に身を包んで好きな歌を披露。伴侶との思い出や自身の病気からの復活など、選ぶ歌に自分の生き方を思い起こしたというのが大半なのは、さすが人生経験豊富な方々の大会です。声を出すことが健康に良い効果を与えるのは周知の事実、審査員の先生方の丁寧な講評に真剣に耳をかたむけ、1位の北島三郎賞をめざす楽しい大会となっています。

期 日：平成18年7月27日 渋谷区大会

代々木八幡区民会館

10月25日 大田区大会

大田区民ホールアプリコ

11月2日 世田谷区大会 砧区民会館

共 催：(財)日本チャリティ協会 ほか



衣装も決めて

リハビリ舞踊

主催

日本舞踊家・高澤淑氏は、国立精神衛生研究所老化度研究室長・斎藤和子医博、整形外科医博・猪飼敏氏らの協力を得て、高齢者のためのリハビリ舞踊、通称「舞リハ」を創案し、その普及に努めてきました。昨年はその功績が認められ緑綬褒章を受章しました。事業団は施設の高齢者たちの認知症予防・健康維持に役立ててもらうために、昭和61年度から高澤氏と老人ホーム等の施設を巡回しリハビリ舞踊を指導しています。

「村まつり」「いい湯だな」「銚子大漁節」「365歩のマーチ」といった誰でも知っている曲にあわせて大声で歌ったり、踊ることによっていきいきとした表情に変わっていきます。

18年度は以下の通り実施しました。

平成18年10月8日 「全国脳卒中者の集い」

国立オリンピック記念青少年センター（代々木）

平成19年3月15日 軽費老人ホーム 浴風会松風園（杉並区）



特製手ぬぐいを使ってリハビリ!

けやき坂カルチャー教室

共催

事業団では、毎月1回（年間10回）テレビ朝日本社ビル1Fの多目的スペースumuでカルチャー教室を主催、高齢者の生きがいの支援をしています。一度で作品のできあがる人気のアレンジ「プリザーブド・フラワー」や「書道」、数回に渡ってひとつのものを作り上げていく陶器のお人形制作「レース・ドール」や純銀のアクセサリ制作「アート・ク



涼しげな夏のアレンジ



完成まで先は長いのです!

れのパートに分かれていざ、集中! 六本木ヒルズを偶然通りがかった方が興味を持って新しく参加されたりして現在では常時50人程度の受講者でにぎわっています。

ねんりんピック2006静岡大会

作文・小学生の絵コンクール部

協賛

高齢化社会の充実を目指して活力ある豊かな長寿社会づくりの実現をテーマにしている“全国お年寄りオリンピック”が今年度も開催され、出場選手1万人、開会式出場総数4万人という過去最高の大会となりました。

ゲートボール、グラウンド・ゴルフ、ソフトテニスなどのお年寄り向けスポーツのほか、文化交流を目的とした囲碁、社交ダンス、俳句など多種目にわたる競技がありますが、事業団は、ねんりんピックと同時に開催されている作文と絵のコンクール部門を協賛・助成しています。全国から募集した高齢者と小学生の作文と、小学生から募集した“わたしたちのおじいちゃん・おばあちゃんの絵”から選ばれたそれぞれの受賞者たちの表彰式が、開会式翌日アクトシティ浜松の大ホールで行われました。



おじいちゃん・おばあちゃんの絵

期 日：平成18年10月28日～10月31日

場 所：静岡県内静岡市をはじめとする17市1町

主 催：(財)長寿社会開発センターほか

高齢化社会日本の状況を海外に情報提供する事業 (Aging in Japan)

後援

(社)エイジング総合研究センターはいわゆる少子高齢化問題の調査研究・広報活動を行っており、Webサイトで日本語と英語の情報を世界各国に発信しています。推計によれば、2005年時点での日本の高齢化率は20.1%となっており、アジア各国の中ではダントツですが、50年後には中国、韓国、台湾なども日本をしのぐほどの高齢化社会に突入すると予想されています。

事業団では同センターの活動を支援、高齢化問題に積極的に取り組んでいます。

認知症と明るく生きる

共催



50歳代前半でアルツハイマー型認知症を発症した太田正博さんは、主治医の菅崎弘之さん、作業療法士の上村真紀さんの3人で「認知症と明るく生きる」をテーマに各地で講演活動（トリオ講座）をおこなっています。東京で初めてのトリオ講座は、認知症の発症からケアについて、医学的

な解説を絡めて、患者本人の意見を尊重した支える側の臨機応変な工夫など、菅崎医師を進行役に太田さんと上村さんが質問に答える対話形式でおこなわれました。会場には認知症患者本人から話が聞けることもあり、介護に携わっている方々や福祉関係者が多数詰め掛け熱心に聴講していました。

期 日：平成18年4月23日

場 所：浜離宮朝日ホール（築地）

共 催：朝日新聞厚生文化事業団

参加者数：約300名



高齢者のパソコン教室

共催

インターネット、メール、映像配信など時代は急速に進み、パソコンの操作によって広がる情報世界は高齢者にとっても楽しみとなってきました。

6年前から始めたパソコン教室〔於：ノーサイド教育センター（世田谷区豪徳寺）〕では、ワード、エクセル、インターネット講座を年間で128時間実施、受講人数は65歳から80歳以上の方まで190人でした。

【その他の高齢者福祉事業・団体への支援】

●高齢者福祉施設へビデオプレゼント

平成11年度から続けているビデオプレゼントですが、今年度も東映(株)の協力を得て「東映映画で歌う美空ひばりの世界・第二巻」を関東地方の1都6県の高齢者福祉施設142ヵ所、介護老人保健施設など25ヵ所、計167本を寄贈しました。

美空ひばりの歌は今でも人々の心の中に生き続けています。今回の寄贈で全三巻が揃い、美空ひばりが昭和30年から41年にかけて主演した東映映画の中での歌(163楽曲)と芝居を楽しむことが出来ることになります。



●いきいきバスツアー

共催



おいしい蕎麦ができあがりました

地域や事業団でボランティアとして活動されている方や、事業団で開催する各種の講座に集う高齢者たちが野外体験を通じ活動を広げ、生きがいを深めることを目的としたバスツアーが年2回行われています。

今年度は蕎麦打ち体験や千葉での初詣などを企画し延べ88人が参加しました。

1. 平成18年8月22日

富士見高原ゆりの里・まきば牧場(長野県)

蕎麦打ち体験

2. 平成19年2月2日

清澄寺初詣、勝浦朝市、

鴨川シーワールドなど(千葉県)



緑ゆたかな高原散歩



初詣!

●高齢者と心身障害者の交流演奏会

主催



元気にリハビリ

東京ミュージック・ボランティア協会の協力のもと、横浜地区の高齢者と心身障害者が交流演奏する「第1回みんなの音楽会 I Nよこはま」が開催されました。障害者や高齢者の方が楽器演奏や歌の練習をすることで楽しくリハビリに

取り組み、障害を乗り越える手助けになればということから企画された音楽会です。当日の出演は6団体で107歳と99歳の夫婦も元気に演奏に参加、また、アメリカ、台湾、日本各地で演奏活動を行っている心身障害者のバンド合奏などもありました。各グループともに練習の成果をおおいに発揮して、笑顔いっぱいの楽しい演奏会となりました。

期 日：平成18年11月3日

場 所：障害者スポーツ文化センター横浜ラポール



音楽は楽しい！

●シニアライフエキスポ2007

協賛

介護・福祉に加え、アクティブシニアのための健康・アンチエイジング、趣味、住宅など豊かなシニアライフを提案する出展企業・団体80社が参加する展示会。事業団は「けやき坂カルチャー教室」の先生方の実演や作品展示、パネル展示をしました。

期 日：平成19年3月28日～3月29日

場 所：東京ビッグサイト

主 催：CMPジャパン（株）

後 援：（社）シルバーサービス振興会



●映画「明日の記憶」上映会

主催



突然、若年性アルツハイマー病に襲われた50歳のサラリーマンの病気との闘いや夫婦の愛の姿を描いて公開当時から大評判の渡辺謙主演話題作の上映会を港区の高齢者の方々などを招待して行いました。

期 日：平成19年3月6日

場 所：シネマート六本木

●高齢者施設での大正琴演奏会

協力

大正琴演奏グループ「エンゼルハート」の高齢者施設訪問を支援しています。

平成18年4月26日 デイサービスセンターなごやか飯田橋

9月18日 特別養護老人ホーム クレイン（西東京市）

12月20日 デイサービスセンターなごやか飯田橋

平成19年1月19日 高齢者通所介護施設 正和クラブ深沢

●高齢者のお化粧品教室

協力

日本シャクリー(株)の化粧品部門が行っている化粧指導のボランティア活動に協力しています。今年度は計4回行われました。

期 日：平成18年4月27日・5月24日・6月13日・7月24日

場 所：高齢者在宅サービスセンター麻布慶福苑 など

●老人クラブ健康教室（ゴルフ場を歩こう！）

後援

期 日：平成18年11月7日

場 所：チャーミング・リゾート都ゴルフ倶楽部

主 催：都留市老人クラブ連合会ほか

●港区カラオケ大会

後援

期 日：平成18年 8 月 2 日

場 所：麻布区民センター

主 催：港区老人クラブ連合会ほか

ゲスト：梨元 勝

●アイリスの会

後援

政財界、弁護士、文化人が定期的に集まり「少子化問題」「雇用制度問題」「高齢者対策」など様々な社会問題を提起し、議論し、具現化するための提言を行なっている「アイリスの会」を後援しました。

期 日：平成18年12月19日

場 所：ホテルオークラ

出 演：田代美代子・梨元勝

心身障害者福祉

第29回車椅子バスケットボール秋季大会 主催



スピード感溢れた動き

事業団が設立以来毎年主催する秋季大会は、自らの力を試し成長の糧とすることができる絶好の機会の場として位置付けられている大会です。参加したチームや選手たちがその後全国大会へ進出したり、海外の大会で活躍する等、多く選手が育っ

ています。障害者チームだけではなく、健常者チーム、障害者・健常者混成チームの正式参加を認めています。

全16チームが参戦、A・B、2リーグに分かれての勝ち抜き式のトーナメントで進められました。車椅子を巧みに操りディフェンスをかわしながらのシュートの応酬、素早い動きで見事なパスカットの連続。息を吐く間もない激戦の結果、Aリーグは最年少45歳のベテランシニアチーム“関東 Knights”、Bリーグは“湘南スポーツクラブ”が優勝しました。



白熱したボールの奪い合い



シュート！

期 日：平成18年12月17日

場 所：BumB東京スポーツ文化館（新木場）

共 催：日本車椅子バスケットボール連盟

●第35回内閣総理大臣杯争奪 日本車椅子バスケットボール選手権大会 後援

35回記念大会となった今大会は皇太子殿下、雅子妃殿下ご夫妻がご臨席されました。

期 日：平成18年4月28日～4月30日

場 所：東京体育館

主 催：日本車椅子バスケットボール連盟、日本障害者スポーツ協会

●日本車椅子バスケットボール連盟第3回ジュニア選手育成講習会 後援

期 日：平成18年9月15日～9月19日

場 所：国立乗鞍青年の家（岐阜県高山市）

主 催：日本車椅子バスケットボール連盟ジュニア育成委員会

第30回ハンディスキー親善大会

主催



アウトリガースキー（障害者用ストックを使ったスキー）

事業団が第1回目から主催しており、今年で記念すべき30回目を迎えたハンディスキー親善秋田・田沢湖大会が開催されました。また、この大会はパラリンピック及び全国ハンディスキー大会の登竜門として位置付けられています。参加した選手は、全国の20都道府県からの障害者とボラン

ティアを兼ねた健常者で116名となりました。競技は初級・中級・上級に分かれ各自が事前に申告したタイムと滑走タイムとの誤差の多少で順位を競い合います。当日、あいにくの悪天候にもかかわらず果敢に滑る選手たちの姿は感動的でした。

期 日：平成19年1月26日～1月28日

場 所：スノーワールドタザワ
（秋田県）



バイスキー（2本のスキーがついた障害者用スキー）

●第36回全国身体障害者スキー大会

後援

期 日：平成19年2月22日～2月24日

場 所：群馬県片品村ホワイトワールド尾瀬岩鞍スキー場

主 催：日本身体障害者スキー協会

●第22回身体障害者スキー関東大会

後援

期 日：平成19年3月9日～3月11日

場 所：群馬県丸沼高原スキー場

主 催：日本身体障害者スキー協会関東支部

第21回全日本視覚障害者柔道大会

後援

北京パラリンピック出場枠決定戦代表候補選手選考会を兼ねて東京・講道館大道場で開催されました。パラリンピックや国際大会、世界選手権に多くのメダリストを輩出している本大会に、全国より45選手が参戦、体重別個人戦7階級（男子の部、女子の部）及び都道府県対抗団体戦が行われました。



期 日：平成19年1月21日

場 所：講道館

主 催：日本視覚障害者柔道連盟

後 援：厚生労働省他

第10回電動車椅子サッカー関東大会

後援

電動車椅子サッカーは、重度の障害をもち電動車椅子を駆使しながら「チームスポーツを楽しみたい」という声により考案された重度身体障害者の団体競技で、年齢や性別を問わず同じ条件で誰もが楽しめるスポーツです。

関東大会は、競技力の向上を目的としているほかに、参加者やボラン



ボールも特製！

ティアそして電動車椅子サッカーに関わる人々の交流の場としても大きな役割を担っています。



ガチンコ対決もあります

期 日：平成18年7月15日

場 所：彩の国くまがやドーム体育館（埼玉県）

主 催：関東ブロック電動車椅子サッカー協会

埼玉県筋ジストロフィー協会

出場チーム：9チーム74名

障害者ヨット大会 第15回フリーダムヨットレース 後援

健常者と障害者が一緒にヨットレースを行うことにより、障害者の社会参加の機会増加をはかり、マリンスポーツでのバリアフリーを推進することを目的として毎年開催しています。今年は当日の天候が風速10メートルを超え、波も荒かったため危険と判断し、残念ながらレースは中止せざるを得ませんでした。参加予定の皆さんは安全な湾内でのセーリングを体験して1日を終えました。

期 日：平成19年2月11日

場 所：千葉市稲毛ヨットハーバー

主 催：NPOヨットエイドジャパン

第8回ウィルチェアーラグビー日本選手権大会 後援

2000年シドニー・パラリンピックから公式種目となったウィルチェアーラグビーは、四肢障害・四肢麻痺者等の車椅子のスポーツとしてカ



スローイン!

ナダで考案された団体競技です。ルールで相手の車椅子に自分の車椅子を衝突させたり引っ掛けたりするタックルが認められており、その迫力に目を見張ります。

国内ランキング上位7チームが参戦、優勝を目指し熱戦を繰り広げました。



激しいぶつかり合い

期 日：平成18年12月8日～12月10日

場 所：千葉ポートアリーナ

主 催：日本ウィルチェアーラグビー連盟

写真・中西小百合



転倒することもあります

ろう野球

後援

●第30回全日本ろう社会人軟式野球全国大会

期 日：平成18年5月2日～5月5日

場 所：福岡市雁ノ巣球場ほか

主 催：全日本ろう社会人軟式野球連盟

●第33回全東京ろう社会人軟式野球秋季大会

期 日：平成18年8月27日・9月9日

場 所：北区中央公園球場、足立区西新井野球場

主 催：全東京ろう社会人軟式野球連盟

●第2回日台ろう軟式野球親善大会

期 日：平成18年9月30日

場 所：東京都江戸川区球場

主 催：日台ろう軟式野球親善大会実行委員会



自閉症カンファレンスNIPPON2006

後援

～ TEACCHモデルに学ぶ実践研究会～

TEACCHプログラムとは世界的に認められている自閉症者支援システムです。米国ノースカロライナ大学TEACCH部部長ゲーリー・メジボフ教授、イギリス自閉症協会ディレクター、リチャード・ミルズ氏ら各氏の講演、両氏と佐々木正美川崎医療福祉大学教授を加えてのシンポジウムの開催、および「TEACCHプログラム」を実践している国内の自閉症療育の関係者による実践報告と情報交換がおこなわれました。

期 日：平成18年8月26日～8月27日

場 所：早稲田大学

主 催：自閉症カンファレンスNIPPON実行委員会

朝日新聞厚生文化事業団

リハビリ音楽療育

主催



元気に手をあげて！

リハビリ音楽療育は、歌唱、楽器演奏、リズム動作など、音楽を楽しみながら、心と身体機能の衰えを防いだり、現在の良い状態を維持、強化したり、グループコミュニケーションを図ることを目指した音楽療法です。

(財) 東京ミュージック・ボランティア協会の協力を得て、音楽療育を2回実施しました。作曲家の赤星建彦さん率いる「東京ミュージック・ボランティア」の音楽療育は、スタッフが参加者に混じって歌や打楽器の演奏を指導するもので、参加者はスタッフの音楽に合わせて、歌ったり踊ったり身体全体で音楽を楽しんでいました。

期 日：平成18年9月17日、平成19年3月9日

場 所：スピアちがさき(神奈川県)、葛飾区地域福祉障害者センター(葛飾区)

第8回障害者わくわくカラオケコンクール 共催

(財) 日本チャリティ協会との共催です。今回の出場者は35組で視覚障害者の方、車椅子の方、知的・精神障害の方をはじめ病気で声帯を失った方も特殊な発声法を習得して参加しました。1位の北島三郎賞を獲得したのは視覚障害者の



歌にはリハビリ効果もあります



息のあったデュエット

ご夫婦で、プロ顔負けの息のあった美声を披露し、観客を沸かせていました。

期 日：平成19年2月1日

場 所：牛込筆筥区民ホール（新宿区）

障害者施設等への設備助成

資金不足や公的援助では充分とはいえない心身障害者の小規模共同作業所に対し、施設の運営に必要な器具、備品、設備を助成しています。今年度も設備等の助成活動を以下の11施設に実施しました。



高圧モーターセット動噴

- ① 柏市手をつなぐ育成会「豊住福祉作業所」（千葉県柏市）
『コピー機 1台』
- ② 流山市手をつなぐ親の会 小規模福祉作業所「かたぐるま」（千葉県流山市）
『工業用換気扇 1基』
- ③ 松戸市手をつなぐ育成会 知的障害者福祉作業所「ふくし館ぱれっと」（千葉県松戸市）
『デジタルカウンティングスケール 2種類』
- ④ 共同作業所「たんぽぽⅡ」（神奈川県藤野町）
『コピー機 1台』『ミシン 1台』
- ⑤ 障害者地域作業所「いずみ作業所」（神奈川県横須賀市）
『高圧モーターセット動噴』『バッテリー動噴』ほか



コピー機

- ⑥ 障害者地域作業所「おりーぶ」（神奈川県小田原市）
『テーブル2台』『折畳式テーブル6台』
- ⑦ 障害者地域デイケア施設「桶川・さといも作業所」（埼玉県桶川市）
『コピー機 1台』
- ⑧ 障害者の生活・作業施設「ひまわりの家」（埼玉県三郷市）
『ノートパソコン1台』『複合機1台』『空き缶圧縮機1台』
- ⑨ 吉川市精神障害者小規模作業所「ひだまり」（埼玉県吉川市）
『作業机6机』『椅子13脚』



テント一式

- ⑩ 心身障がい者通所授産施設
「クラフト工房 ラ・まの」（東京都町田市）
『カーペット1式』
- ⑪ 知的障害者通所訓練作業所
「ひのでユートピアサンホーム」（東京都日の出町）
『テント1式』

【その他の心身障害者福祉事業・団体への支援】

●第23回高校生の手話によるスピーチコンテスト

後援

手話の普及とボランティア活動、福祉教育の推進を目的としています。

応募者101人の中から事前審査で選ばれた10人が音声と手話を同時に使い競い合いました。優勝は兵庫県武庫川女子大学付属高校 鷺尾美香さん。「心からの言葉を」と題し、未来の子どもたちへのメッセージ「眼を見つめ、心からの言葉で語り合えば、通じ合い、真剣に自分を受け止めてくれる人がかならずいるという



優勝した鷺尾さんの手話スピーチ

ことを忘れないで欲しい」と訴えました。

期 日：平成18年 8 月26日

場 所：有楽町マリオン

主 催：全日本ろうあ連盟 朝日新聞社 朝日新聞厚生文化事業団

●第19回国際親善交流特別演奏会（東欧音楽家支援） 後援

障害者をコンサートに招待（2500名）

期 日：平成18年11月 6 日・11月 9 日

場 所：札幌市教育文化会館（札幌）・東京芸術劇場（池袋）

主 催：日本音楽文化交流協会

●第22回東京の夏音楽祭2006 協力

障害者を各コンサートに招待

期 日：平成18年 7 月 5 日～ 7 月29日

場 所：都内各音楽ホール

主 催：アリオン音楽財団ほか

●NPO「日本と世界の愛唱歌をうたう会」（ポポロ童謡コンサート） 後援

障害者・高齢者等を招待（855名）

期 日：平成18年 7 月 1 日、平成19年 3 月21日

場 所：東大和市ハミングホール、小平市ルネこだいら

主 催：ポポロ

●民放クラブ「朗読奉仕活動」への助成

点字図書館、公立図書館、盲学校などへ寄贈するため、民間放送に在籍したアナウンサーOBの朗読する小説などの収録用テープを助成。

90分テープ 1300巻

120分テープ 200巻

●心身障害者施設合宿訓練に助成

1. わらじの会（精神薄弱者共同作業所・埼玉県越谷市大房）
期 日：平成18年 8 月25日～ 8 月27日
場 所：栃木県那須郡高雄温泉
2. 千葉県手をつなぐ育成会（知的障害者地域作業所・千葉県千葉市）
期 日：平成18年 9 月28日～ 9 月29日
場 所：栃木県湯西川 花と華

●2006年わくわくシアター（こども劇場）

後援

期 日：平成18年 4 月23日
場 所：けやき広場（馬事公苑）
主 催：こども劇場せたがや

●トライアングル（聴覚障害児と共に歩む会）

後援

期 日：平成18年10月22日
場 所：東京都潮風公園
主 催：聴覚障害児と共に歩む会トライアングル
参加者数：66名（聴覚障害者本人と両親、家族、手話通訳者など）

●第22回DP I 日本会議

後援

期 日：平成18年 6 月10日～ 6 月11日
場 所：大阪府国際障害者交流センター ビッグ・アイ
主 催：DP I（障害者インターナショナル）

●第19回福祉MY HEART美術展に助成

期 日：平成18年10月 4 日～ 10月 9 日
場 所：青梅市立美術館 市民ギャラリー
主 催：NPOマイハート・インターナショナル

●第11回土と色 ひびきあう世界世田谷展

「アート時間軸の原点」

後援

京都府・滋賀県下の知的障害者福祉施設を利用する人たちの粘土、貼絵、水彩、鉛筆、等による作品が展示され、5日間で1500名を越える来場者がありました。

期 日：平成18年11月15日～
11月19日

場 所：東京世田谷美術館

主 催：第11回「土と色ひびき
あう世界」

世田谷展実行委員会



●AJU自立の家（ピア名古屋）多治見ワインフェスティバル

後援

知的障害者通所授産施設ピア名古屋が行う「多治見ワインフェスタ2006」支援

期 日：平成18年11月23日

場 所：多治見神言修道院（岐阜県）

主 催：（福）AJU自立の家ピア名古屋、中日新聞社会事業団

●第44回「ぼくにもできる展」

後援

総合福祉センター・弘済学園（知的障害、自閉症児者施設）園生の作品展は平成8年から織物、木彫り、鉢花など手作りの作品が東京駅で展示、販売されています。俳優の館ひろしさんが今回もテープカットに参加、子どもたちの作品を熱心に鑑賞していました。

期 日：平成18年12月4日～12月8日

場 所：JR東京駅丸の内北口地下 動輪の広場

主 催：財団法人鉄道弘済会
東京都社会福祉協議会
特別協力：石原プロモーション



館ひろしさんと子どもたち

●全日本手をつなぐ育成会全国大会千葉大会

後援

知的障害児者が幸せに生活できるように政策の充実を求める活動をしている知的障害児者の親たちが結成している育成会の全国大会。

主 催：社会福祉法人全日本手をつなぐ育成会 ほか

期 日：平成18年11月18日～11月19日

場 所：幕張メッセ国際会議場

参 加：3700名

児 童 福 祉

養護施設の高校生海外生活体験の旅 in オレゴン 共催

事業団では、毎年、東京都の児童養護施設の高校生を対象に海外でのホームステイ体験の旅を実施しています。今年度はアメリカ・オレゴン州ポートランドに7名の高校生を招待しました。今回のプログラムの特徴は

- ・全泊ホームステイ
- ・高齢者施設で昼食配膳のボランティア活動
- ・スーパーマーケットで食料品・日常生活品の日本との違いを研修
- ・本格的ラフティング体験



英会話の実践レッスン



迫力！興奮！大歓声！

さらにアメリカ人インストラクターが日々の指導についてくれ、英語の授業もあります。昼間は全員でその日のプログラムをこなし、夜はそれぞれホストファミリーと過ごします。

スーパーでは見たことのない野菜類や、ずいぶんと形の違う果物、何事も

ビッグ・サイズのアメリカの日常生活品を手に取り、高齢者施設では昼食の配膳、折り紙や歌のプレゼントなどのボランティアをして地元の人々とのふれあいも経験しました。英会話の実践や人々とのコミュニケーションをはかるチャンスは1日中あふれています。そして世界的に有名なデシューツ川での大自然満喫の本格的ラフティング！まさに1週間ぎっしり、目いっぱいのアメリカ生活体験です。



地元の高齢者の方々と交流



スーパーマーケット探検隊！

なんらかの理由で親元を離れ児童養護施設での生活を余儀なくされている彼らも、高校を卒業すれば自活の道を選ばねばなりません。異文化に触れ、温かいホストファミリーと過ごした1週間は“家族”を改めて感じ、自身の将来についても具体的に考える大きな人生転換の旅と

なったようで、帰国後の彼らからは数年後の留学予定やグローバルな職業につくことへの決意など、うれしい報告が相次いでいます。

期 日：平成18年8月23日～8月29日

共 催：東京都社会福祉協議会

後 援：原田積善会



ホストファミリーの方々
ありがとうございました！

東京都児童福祉施設競技大会

江戸っ子杯野球大会2006

共催



元西武ライオンズ・大塚光二さん
からプレゼントをいただきました！

毎年恒例、三鷹市大沢総合グラウンドで東京都内にある児童養護施設（11施設）の野球大会が行われ、元プロ野球西武ライオンズで活躍した大塚光二氏をゲストに迎え始球式を行いました。元プロ野球選手の登場で少年たちは一緒に記念写真に収まったり、サインをお願いして素

敵な思い出をつくりました

期 日：平成18年8月1日～8月2日

共 催：東京都社会福祉協議会児童部会ほか

後 援：東京都、三越厚生事業団





釣れた？

東京都の児童養護施設で生活している児童を招待して毎年川釣り体験と潮干狩りを行っています。

～秋川・中津川マス釣り体験～

釣りハイクには毎回テレビ朝日の釣り部員、OBとボランティアが協力、子ども達にエサの付け方から釣り方まで丁寧に指導しています。20匹以上も釣れた太公望顔負けの児童から、残念ながら2～3匹の釣果に終わる児童まで、みんなの歓声が溪谷に響いていました。秋川では近くの「東京ムツゴロウ動物王国」、中津川では服部牧場を訪ね馬や犬、猫など動物たちとの触れ合いを楽しみました。

期 日：平成18年5月27日（秋川）

平成18年10月14日（中津川）



馬に挨拶？

～木更津牛込海岸潮干狩り～

潮干狩りはアサリ採りを楽しむだけでなく、海水面の潮汐の仕組みなど、子どもたちに自然への関心を高めてもらう良い機会となっています。小さな子どもには施設職員やボランティアと一緒に砂を掘り、アサリ以外にもヤドカリや蟹、小魚を見つけそのたびにみんな大騒ぎです。



帰りには富津火力発電所に併設された「TEPCO新エネルギーパーク」に立ち寄りソーラーカーに乗り、また世界の風の中を冒険する「風の部屋」を体験しました。

期 日：平成18年6月24日

里親大会

共催／後援

●第52回全国里親大会

共催

この大会では全国の里親および関係者が一堂に会し、里親制度の意義と目的について認識を深め、里親制度の一層の発展を図るとともに里親たちの表彰をおこなっています。

期 日：平成18年10月1日

場 所：神奈川県横浜市 パシフィコ横浜

共 催：厚生労働省、神奈川県ほか

●第52回関東甲信越静里親研究協議会

後援

期 日：平成18年7月8日～7月9日

場 所：山梨英和大学、石和温泉ホテル慶山

主 催：関東甲信越静里親研究協議会、山梨県ほか

夏の大学たんけん隊～みんなであそぼう緑のキャンパス 後援

平成17年4月に施行された次世代育成支援対策推進法に基づいた「夏の大学たんけん隊」を支援しました。参加した約150名の子どもたちは大学生と班をつくり広い構内をウォークラリー、教室や廊下にあるポイントで「ふくしたいけん」



「えでんごんゲーム」「なかみあてゲーム」他を楽しみました。保護者等は、大学教授による心理テストを交えた講座「キレない子どもに育てるための親子のコミュニケーション」や、子供支援センター相談員、子ども政策課職員、地域子ども家庭支援センター館の皆さんによる「子ども育成計画等座談会」など子育てセミナーを受講、熱心に耳を傾けていました。

期 日：平成18年8月8日

場 所：法政大学多摩キャンパス
主 催：法政大学現代福祉学部
高橋児童福祉ゼミナール



箱の中身は？

第56回社会を明るくする運動

協力／後援

「社会を明るくする運動」とは、犯罪や非行のない明るい社会をめざして地域住民の理解と協力を深める、昭和26年に始まった法務省主唱の全国的な運動です。事業団は2006年、港区の「青少年育成大会 in 六本木ヒルズ」と東京藝術大学で行われた中央行事「匠に学ぶワークショップ」に協力しました。

●青少年健全育成大会 in 六本木ヒルズ

協力



南山小学校の生徒とセッション！

地元港区の小中学生や住民が参加して様々なアトラクションを披露、地域が力を合わせて青少年を非行や犯罪から守り明るい社会を築こうというメッセージを再確認しました。

事業団は世界的ジャズ・トランペッターの日野皓正さんをお招きして子どもたちにメッセージを頂きました。

子どもたちの音楽に関する質問に丁寧に答えていた日野さんは、最後にはなんと一人の生徒の要望で彼のトランペットを手に取り、小学生のみんなとセッション！夕暮れの六本木ヒルズに日野さんのトランペットが響き、思いがけない演奏に子どもたちも会場につめかけていた観衆も大興奮でした。

期 日：平成18年7月1日

主 唱：法務省

主 催：「第56回社会を明るくする運動」

港区実施委員会



日野さんと下平アナウンサー

●匠に学ぶワークショップ in 東京藝術大学

後援

東京藝術大学の全面的な協力を得て、台東区内の小学5・6年生と保護者60組120名が参加して「匠に学ぶワークショップ」が開催されました。

講座は

- ① 銀のバターナイフを作る鍛金教室
- ② 色とかたちで遊ぶデザイン教室
- ③ 竹の太鼓を作る音楽教室



バターナイフ制作中



奏学堂で発表会！

の3つです。普段なかなか訪れることのできない大学の構内で、プロの先生方の指導を受けながら親子が協力してひとつの作品を完成させるというまたとない機会に、集まった小学生たちも夢中！35度を超える暑さの中、銀をけずったり、バーナーで焼いたり、絵の具まみれになったり、羊の皮を竹に貼ったり…ものすごい集中力で自分にしかできない、オリジナルの作品を完成させました。

期 日：平成18年8月5日

主 催：東京藝術大学、「社会を明るくする運動」中央実施委員会 ほか

事業団は「第56回社会を明るくする運動」への協力に対して、法務大臣から感謝状を授与されました。



長勢法務大臣と佐方常務理事

■第1回フィランソロピーLPGAプレイヤーズチャンピオンシップ 後援

“働く女性をサポートする”というメインテーマのもと、母子福祉、児童福祉事業支援を主な目的に発足した新しい女子ゴルフ・トーナメントの第1回大会が茨城県の潮来カントリー倶楽部



横峯さくらプロも出場



優勝した全美貞プロからチャリティ基金贈呈

で行われ、この模様はテレビ朝日系全国ネットで放送されました。

出場選手の獲得賞金や入場料などイベントの収益金の一部は当事業団を通して以下の9施設に総額900万円の寄贈を行いました。

期 日：平成18年7月20日～7月23日

場 所：潮来カントリー倶楽部（茨城県）

1. 富士見乳児院 （埼玉県久喜市）
『通院用軽自動車』
2. 慶福育児会麻布乳児院 （東京都港区）
『通院用軽自動車』
3. 東京恵明学園乳児部 （東京都青梅市）
『液晶テレビ』『パソコン』
4. ドルカスベビーホーム（埼玉県綾瀬市）
『業務用洗濯乾燥機』
5. 久良岐乳児院 （神奈川県横浜市）
『全自動洗濯脱水機』
6. 恩賜記念みどり園 （静岡県富士市）
『幼児用園庭遊具』
7. 風越乳児院 （長野県飯田市）
『全自動洗濯乾燥機』『空気清浄機』ほか
8. 清心乳児園 （福岡県三井郡）
『幼児用遊具』
9. 潮来市福祉事務所 （茨城県潮来市）
『学童クラブ用エアコン』



通院用自動車



幼児用遊具



日の出学童クラブ

面白体験BOX

主催



重い杵を一生懸命持ち上げて！

養護施設の子どもたちに様々な文化を体験してもらおうと東京都日の出町の「太陽の家」で体験BOXを開催しました。ここは元々知的障害者入所更生施設ですが、地域との交流を深めるために「日の出陶房」を開設し、陶芸教室を開いています。また、通称「武家屋敷」といわれ

る大きな古民家も併設しており、ボランティアの養成所として広く知られています。子どもたちは陶芸、武家屋敷探検、お餅つき、と広い敷地であちこち走り回り、楽しい1日を過ごしました。

期 日：平成19年1月20日



みんなで大福を手作り

児童虐待防止シンポジウム

共催

5回目の開催となる「シンポジウム児童虐待防止最前線2006」をおこないました。今回のテーマは[希望の光を見つめて]です。コーディネーターに朝日新聞鹿児島総局次長大久保真紀さん（虐待問題、児童問題を題材とした著書多数）、シンポジストに児童養護施設で育ち施設職員の経験もある茨城県高萩市長草間吉夫さん、自立援助ホームで約30年寮母を務めた（福）青少年と共に歩む会評議員三好洋子さん、そして、臨床心理士であり八王子市子ども家庭支援センター相談員の大神田恵子さんら児童福祉に精通している3名を迎えて、子どもたちが置かれている現状と課題、自立していく為に必要なことは何かなど、討論しました。

期 日：平成18年11月8日

場 所：浜離宮朝日ホール

共 催：東京都社会福祉協議会、朝日新聞厚生文化事業団

【児童養護施設職員のためのワークショップ】 共催

昨年に続き、1980年代から児童虐待、ネグレクトの問題に取り組み日米の子供と家族の治療に関してきたDr.田中万里子、Dr.ロジャー・カミングス両氏を迎えて、児童福祉分野に従事するスタッフに対する専門的ワークショップを開催しました。

期 日：平成18年10月24日～10月25日

場 所：ザ・クレストホテル立川（立川市）

共 催：（社福）至誠学舎立川

【その他の児童福祉事業・団体への支援

●こどもの国（神奈川県横浜市）のお正月行事

助成

1. ジャンボいろはカルタ取り大会

平成19年1月2日～1月3日



2. どんど焼き

平成19年1月13日

●第56回児童福祉施設文化祭

後援

期 日：平成18年10月29日

場 所：明治神宮会館

主 催：（財）日本民生文化協会



思い思いの浴衣で琴の合奏

●第48回慈彩会チャリティ絵画展

後援

財界、官界等社会の第一線で活躍している会員の美術作品を展示即売し、収益金で児童文化祭を行い、作品の一部は福祉施設に寄贈しました。当日会場ではご来賓の常陸宮妃殿下が作品の前で出展者一人ひとりとお話を交わされました。

期 日：平成18年7月11日～7月17日

場 所：日本橋三越本店

主 催：慈彩会、(財)日本民生文化協会

●第21回全国童謡歌唱コンクール

後援

期 日：平成18年11月3日

場 所：簡易保険ホール（品川区）

主 催：(社)日本童謡協会、テレビ朝日および系列23社

●プロ野球ヤクルト戦入場券プレゼント

プロ野球ヤクルト戦入場券を東京都社会福祉協議会を通して都内の児童養護施設、心身障害者施設や養護老人施設68施設に計648枚をプレゼントしました。

●自立援助ホーム「憩いの家」バザー

後援

期 日：平成18年12月20日～12月25日

場 所：日本橋高島屋

主 催：(社福)青少年と共に歩む会

第16回ミュージックウェーブ

児童養護施設への楽器プレゼント



テレビ朝日で毎年年末に放送される音楽番組「ミュージックステーション・スペシャル」から拠出されている基金「ミュージックウェーブ」では、全国の児童養護施設に楽器のプレゼントを平成3年以来毎年おこなっています。事業団

とテレビ朝日は、養護施設の児童たちに音楽を通して心豊かな生活を送ってもらうことと音楽文化の向上を願って、毎年この事業を継続しています。音楽教育に熱心な施設を厳選して平成18年度は次の6施設に寄贈しました。楽器を寄贈した施設からは、これにより音楽教育が充実できると大変感謝されています。平成3年以降の寄贈先は、今回で延べ



101施設となりました。

なお、このミュージックウェーブ楽器のプレゼントは、毎年地元のテレビ朝日系列局や新聞でニュースとして大きく扱われています。



ハンドベル演奏会

《平成18年度寄贈先》

施設名	主な贈呈楽器
★興望館・沓掛学荘（東京都・墨田区）	ハンドベル一式他
★八代ナザレ園（熊本県・八代市）…	アップライトピアノ、ホルン他
★慈恵園（長野県・下伊那郡）………	クワイアチャイム一式、ハンド ドラム他
★青葉学園（福島県・福島市）………	アップライトピアノ、ギター他

★あかつき寮（栃木県・真岡市）…… アップライトピアノ、メトロノーム他

★成光学園（神奈川県・座間市）…… アップライトピアノ・3台



地元ニュースで放送された演奏会



クリスマス会で



お礼の手作りおてがみが届きました

福祉広報活動

「チャリティーコンサート」

主催



モーツァルトの調べ！

「ミュージックウェーブ」など音楽を通した福祉活動を行ってきた事業団が六本木ヒルズでチャリティーコンサートを開催、児童養護施設の子どもたちや老人クラブの方々、地元港区の方々などを招待、気軽に音楽を楽しんでもら

うと同時に様々な活動をPRしています。

事業団が楽器をプレゼントしている児童養護施設の子どもたちにとっては、プロのすばらし



沖縄の紅型幕が美しい舞台

い演奏を至近距離で体感し、自分たちの日頃の練習の成果を発表する場にもなっています。

今年度も一生懸命に演奏した「至誠学園」のバンド・メンバーに観客の方々から暖かい声援が贈られました。



至誠学園のバンドメンバー

- ・ 平成18年10月30日

モーツァルト生誕250年記念 オーケストラ若手首席奏者カルテット (テレビ朝日1F umu)

- ・ 平成19年1月30日

ネーネーズ vol.2 (ハリウッド・ホール)



カチャーシーのリズム！



会場一体の南国ムード！

その他支援

第55回東京都社会福祉大会

協賛

期 日：平成18年12月21日

場 所：東京都第一本庁舎 大会議場

主 催：東京都、東京都社会福祉協議会 ほか

加入する福祉諸団体

- ・ 長寿社会福祉事業等関連団体連絡協議会
- ・ 高齢者N G O 連絡協議会
- ・ (財) 助成財団センター
- ・ (社福) 東京都社会福祉協議会

第39回社会福祉大相撲

期 日：平成18年10月 7 日

場 所：両国国技館

社会福祉大相撲は1968年、日本相撲協会の全面的な協力を得て交通事故防止キャンペーンの一環として始まりました。高齢者福祉、心身障害者の方々への福祉活動などテレビ朝日とテレビ朝日福祉文化事業団が共催で行う社会貢献事業のひとつとして、毎年行われています。



幕内決勝戦！朝青龍 VS 白鵬



テレビ朝日君和田社長から大関白鵬へ優勝カップ贈呈

第39回大会は10月 7 日（土）に両国国技館で7000人の観客を集めて開催されました。大関白鵬から杉並区第八小学校の児童への“黄色い帽子”贈呈から始まり、十両トーナメント、関取VS豆力士、初っ切り、相撲甚句、最後に朝青龍 VS 白鵬の優勝決定戦となった幕内力士のトーナメントと恒

例のプログラムが続きます。第3部ではゲストのデーモン小暮さん、遊佐未森さん、はなわさん、杉山兄弟と関取のバラエティーショーなども行われ、盛りだくさんの楽しい1日となりました。

事業団では当日、都内の高齢者施設、心身障害者施設、児童養護施設の方々を招待しました。

なお、純益は次の交通事故防止諸団体への寄付および事業団の社会福祉活動に充てさせていただきました。



高見盛関&デーモン小暮さん

(寄付先) 財団法人 全日本交通安全協会
財団法人 東京交通安全協会
財団法人 日本交通安全教育普及協会
社会福祉法人 こどもの国協会
交通事故遺児を励ます会
黄色い帽子の会

今年度の社会福祉大相撲は、次の各社・団体のご協力により開催できました。厚く御礼申し上げます。



十両優勝の北桜関



遊佐未森さん・はなわさん・大関琴欧州のシャボン玉対決

協賛会社および団体名 (敬称略・アイウエオ順)

(株)朝日新聞社	(株)テレビ朝日サービス	富士映画(株)
朝日建物管理(株)	(株)テレビ朝日データビジョン	富士ゼロックス(株)
(株)アサヒファシリティズ	(株)テレビ朝日ベスト	(株)フレックス
池上通信機(株)	(株)テレビ朝日ミュージック	(株)文化工房
上野印刷(株)	(株)テレビ朝日リビング	(株)放送技術社
エア・ウォーター防災(株)	東映(株)	(株)マルゼン
(株)関電工	(株)東京サウンド・プロダクション	(株)三井住友銀行
国際自動車(株)	東京綜合警備保障(株)	三井住友海上火災保険(株)
コンパスグループジャパン(株)	(株)東京美術	三菱電機(株)
三建設備工業(株)	東京無線協同組合	(株)三菱東京UFJ銀行
(株)シー・アイ・シー	東宝(株)	(株)ミヤギ
(株)JTB首都圏東京蒲田支店	東邦航空(株)	(株)ムラヤマ

松竹(株)	(株)トラストネットワーク	(株)明電舎
新日本プロレスリング(株)	日個連東京都営業共同組合	横浜エレベータ(株)東京支店
(株)日本ケーブルテレビジョン	日本興亜損害保険(株)	立正佼成会
住友信託銀行(株)	日本アサヒ機工販売(株)	
(株)スミノエ	(株)ビデオ・パック・ニッポン	
(株)損害保険ジャパン	(株)日の丸リムジン	大和自動車交通(株)
帝都自動車交通(株)	テレビ朝日映像(株)	

協 賛：財団法人日本相撲協会

協 力：国技館サービス株式会社

東京原宿ライオンズクラブ

東京蔵前ライオンズクラブ

東京六本木ライオンズクラブ

広告協賛会社および団体名（敬称略・アイウエオ順）

アラコム(株)	(株)シービーエス	東京ガス(株)
(株)泉放送制作	(株)ジョリエス	(株)ナチュラリープラス
インターナショナルエクスプレス(株)	シンエイ動画(株)	日本自転車振興会
エバラ食品工業(株)	(株)竹中工務店	(株)文 祥 堂
鹿島建設(株)	(株)テイクシステムズ	(株)増 岡 組
(株)共 立	(株)テレビ朝日クリエイト	万座温泉ホテル
コーセーコスメポート(株)	(株)テレフィット	(株)山武ビルシステムカンパニー
(株)コマデン	東京海上日動火災保険(株)	

商品協賛会社（敬称略・順不同）

伊勢醤油本舗(株)	チャイナハウスカモメ	諸橋酒造(株)
(株)美濃屋吉兵衛商店	(株)ウェルリッチ	(有) カシオペア
箱根ホテル小涌園	(株)東京ネットワーク社	石和温泉ホテル八田
(株)ナチュラリープラス	日本シャクリー(株)	(株)フジコロナ
万座温泉ホテル	(株)柳屋本店	ライオット警備(株)
ホテルリステル猪苗代		

字幕放送・手話放送・解説放送 推進事業

独立行政法人 情報通信研究機構は、福祉社会における放送を通じた情報へのアクセスの機会の均等を図るために字幕番組等の制作費の一部を助成しております。また助成先は公益法人（テレビ朝日福祉文化事業団など）であることが条件となっています。

当事業団は、この助成に対して交付申請を行うなどし、字幕付テレビ番組等の制作を促進し、聴覚・視覚障害者や高齢者などが放送を利用するための向上を図っております。

平成18年度は以下のとおり助成金の交付を受けて事業を行いました。

◎ 字幕番組	56,724,100 円
◎ 手話番組	819,400 円
合 計	57,543,500 円

ジャワ島中部地震、パキスタン北部地震、 国内・海外災害被災者支援義援金

今年度表題の災害に対して、視聴者の方々からの災害義援金としてテレビ朝日より「ドラえもん募金」および一般の方々からの義援金が事業団に寄せられました。事業団は、ジャワ島中部地震、パキスタン北部地震、国内・海外災害被災者義援金を日本赤十字社へと寄託しました。義援金内訳は次の通りです。

義 援 金

(平成19年3月31日現在 単位：円)

	ジャワ島中部地震	パキスタン北部地震 平成17年度繰越分平 成18年度預り分	国内海外災害
テレビ朝日ドラえもん募金 一 般 義 援 金	23,905,815 73,000	1,211,976 49,309	0 3,300
合 計	23,978,815	1,261,285	3,300

ジャワ島中部地震被災者支援募金

テレビ朝日ドラえもん募金

募金期間 平成18年5月29日～6月15日

告知枠 スーパーJチャンネル、報道ステーション他

募金総額 23,905,815円

募金明細	ダイヤルQ2	21,317,012円
	テレビ朝日アトリウム設置募金箱	40,003円
	テレビ朝日関係会社	548,800円
	(株)藤子・F・不二雄プロ	1,000,000円
	シンエイ動画(株)	1,000,000円

一般の方々からの義援金

総 額 73,000円

明 細 一般視聴者 73,000円

寄 託 先 日本赤十字社

贈 呈 日 平成18年6月22日 21,000,000円

テレビ朝日福祉文化事業団君和田正夫理事(テレビ朝日代表取締役社長)より日本赤十字社大塚義治副社長へ寄託。



平成18年12月25日 2,909,815円

テレビ朝日浅野正夫総務局長より日本赤十字社佐々木典夫総務局長へ寄託。

平成19年2月26日 69,000円

テレビ朝日福祉文化事業団佐方紀子常務理事より日本赤十字社へ寄託。

パキスタン北部地震被災者支援募金(平成17年度繰越分平成18年度預り分)

テレビ朝日ドラえもん募金

募金期間 平成17年10月11日～平成17年11月11日

告 知 枠 スーパーJチャンネル、報道ステーション他

募金総額 1,211,976円

募金明細 ダイアルQ 2 1,211,976円

一般の方々からの義援金

総 額 49,309円

明 細 UMUチャリティーコンサート 12,309円

一般視聴者 37,000円

寄 託 先 日本赤十字社

贈 呈 日 平成18年6月2日 1,261,285円

テレビ朝日福祉文化事業団佐方紀子常務理事、テレビ朝日浅野正夫総務局長より日本赤十字社勝村組織推進部長へ寄託。



国内・海外災害被災者支援金

一般の方々からの義援金

総 額 3,300 円

明 細	北陸水害被災者義援金	一般視聴者	100 円
	長野水害被災者義援金	一般視聴者	100 円
	トンガ災害被災者義援金	一般視聴者	100 円
	インドネシア災害被災者義援金	一般視聴者	1,000 円
	スマトラ島地震被災者義援金	一般視聴者	1,000 円
	能登半島地震被災者義援金	一般視聴者	1,000 円

寄託先 日本赤十字社

寄託日 平成18年12月25日 1,300円

テレビ朝日浅野正夫総務局長より日本赤十字社佐々木典夫総務局長へ寄託。

次年度繰越額 2,000円



ご協力いただきました方々に厚く御礼申し上げます。

ご寄付をいただいた方々

一般寄付（敬称略・順不同）

個人4名、故人1名 (株)テレビ朝日 テレビ朝日部課長会
シンエイ動画(株) (株)藤子・F・不二雄プロ 瑞祥会サン未来
テレビ朝日映像(株) (株)テレビ朝日リビング (株)文化工房
(株)テレビ朝日サービス (株)トラストネットワーク 新日本プロレスリング(株)
(株)フレックス (株)テレビ朝日クリエイト 日本女子プロゴルフ協会
(福)東京都社会福祉協議会 城南質屋協同組合
(株)テレビ朝日データビジョン (株)日本ケーブルテレビジョン
(株)東京サウンドプロダクション (株)ビデオ・パック・ニッポン
巨人軍監督原辰徳氏を励ます会 UMU チャリティーコンサート
(株)テレビ朝日ミュージック スポーツフィランソロフィー協会
テレビ朝日番組「スーパーモーニング（株）高島屋通信販売」
テレビ朝日番組「ミュージックステーションスペシャル」
尚、ご寄付をお寄せ頂きました個人のご芳名は個人情報保護のため掲載
を割愛させて頂きました。

◇ご寄付くださる皆様へのお願い◇

テレビ朝日福祉文化事業団では、その活動を支えていくために、広く皆様にご寄付をお願いしています。個人は所得控除、法人は損金算入が認められます。

また、事業団では香典返しの一部を社会福祉事業にとのお考えをお持ちの方々からのご寄付を賜っています。ご意思のある方はご連絡ください。

〒106-8001 東京都港区六本木6-9-1 テレビ朝日福祉文化事業団へ
直接現金書留でご送金いただくか、

郵便振替 00110-6-761778「こころの樹」にお振込みください。

また、品物のご寄付については、ご希望にそった施設をご紹介します。

平成18年度収支報告

平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日

(単位:円)

科 目	金 額
収 入 の 部	
寄付金収入	49,030,602
基本財産基金利子収入	0
運用財産基金利子収入	17,460,094
運用財産利子収入	84,783
社会福祉大相撲事業収入	27,931,500
当期収入合計(A)	94,506,979
前年度繰越額(B)	138,495,923
収入合計(A+B)	233,002,902
支 出 の 部	
高齢者福祉費	10,730,320
心身障害者福祉費	11,781,150
児童福祉費	18,194,114
ミュージックウェーブ	4,442,655
社会福祉大相撲事業支出	23,808,340
交通事故防止団体等支援金	2,300,000
災害援護活動・支援費	2,069,000
広報費	3,413,285
事務費	4,572,971
人件費	8,152,671
租税公課	8,500
当期支出合計(C)	89,473,006
当期収支差額(A-C)	5,033,973
次期繰越額(A+B-C)	143,529,896

詳細についてお知りになりたい方は事務局までお問い合わせください。

テレビ朝日福祉文化事業団（平成19年5月30日現在）

理事・評議員	廣瀬道貞
常務理事・	佐方紀子
理事・	君和田正夫
〃	伊藤邦男
理事・評議員	石野清治
〃	正木馨
〃	高橋利一
監事	竹下精紀
〃	平田和子
評議員	坂本誠一郎
〃	小澤洋
〃	早河康夫
〃	松木孝夫
〃	梅木守
〃	池田博
〃	大橋治
〃	風間邦介
〃	古澤

事務局長 佐 方 紀 子



tv asahi welfare foundation